

## みずほマーケット・トピック(2020 年 3 月 13 日)

## 週末版

## 内容 1. 為替相場の動向

## 2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

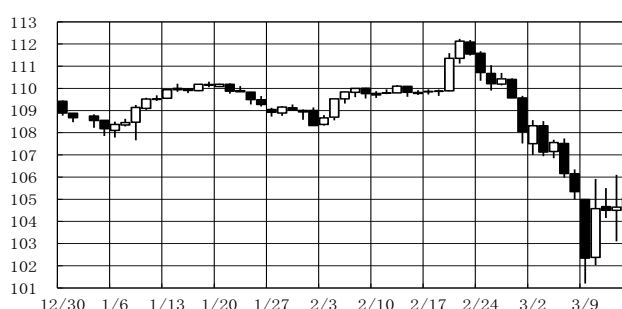
## 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は週初に急落する展開。週初9日に104円付近でオープンしたドル/円は、週末にOPECプラスの会合で協調減産合意が拒否されて原油価格が大幅に下落したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、ドル売りが加速した。世界的な株安と米10年債利回りが0.5%を割り込む動きに、ドル/円は101円台まで急落し、主要米株指数が暴落に伴い取引停止となったことから、一時、約3年ぶり水準の101.18円まで下落した。10日は、トランプ米大統領が新型コロナウイルス被害への救済措置をする表明をしたことでドル/円は徐々に上昇し、日経平均株価と米金利の上昇を受けて105円台前半まで回復した。その後、ムニューシン米財務長官とペロシ下院議長が会談すると報道もあり、106円付近まで上昇した。11日は英中銀の緊急利下げの影響で欧州株が全面高となる一方、米国の経済政策への期待後退でドル/円は下落し、世界保健機関が新型コロナウイルスをパンデミックと表明したことで、株式市場は弱気となり104円台半ばまで下落した。12日は欧州から米国への渡航禁止の発表と世界的な株安の影響で103円付近まで下落したが、ECB政策理事会の結果を受けてユーロ/ドルが値下がる展開にドル/円は上昇。その後、株式市場が急速に回復する動きに一時週高値の106.10円まで上昇した。本日はやや反落し、105円付近での推移が続いている。
- 今週のユーロ/ドル相場は週後半に安値をつける展開。週初9日に1.14台前半でオープンしたユーロ/ドルは米金利が過去最低水準で推移したことに加え、米株の取引停止も影響し、一時週高値の1.1495まで上昇したが、欧州でも新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、上値の重い推移。10日は米政府の救済措置に対する期待感からドルが買い戻され、1.12台後半までじり安の展開となった。11日は、後半にかけてドルが買われる展開に1.12台半ばまで下落した。12日は、ECB政策理事会にて量的緩和政策の拡大が決定されると1.13台まで値を戻したが、内容に対する失望や、今週金曜夜から、欧州から米国の入国禁止が開始されることを控え、一時週安値の1.1056まで下落した。本日は1.11半ばでの推移が続いている。

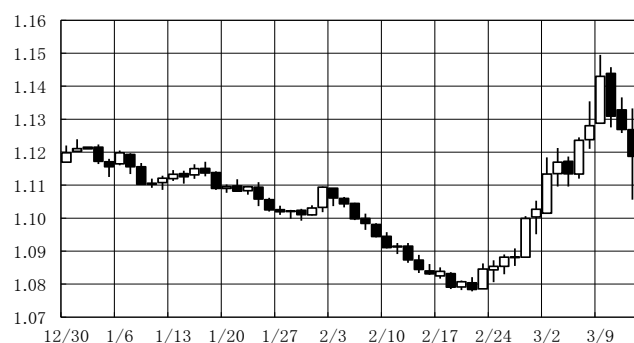
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

ドル/円相場の動向

|              |          | 前週末       | 今 週       |           |           |           |
|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|              |          | 3/6(Fri)  | 3/9(Mon)  | 3/10(Tue) | 3/11(Wed) | 3/12(Thu) |
| ドル/円         | 東京9:00   | 106.26    | 103.98    | 103.09    | 105.02    | 104.57    |
|              | High     | 106.34    | 104.95    | 105.91    | 105.69    | 106.10    |
|              | Low      | 105.00    | 101.18    | 102.02    | 104.11    | 103.10    |
|              | NY 17:00 | 105.34    | 102.34    | 105.64    | 104.50    | 104.64    |
| ユーロ/ドル       | 東京9:00   | 1.1223    | 1.1387    | 1.1399    | 1.1314    | 1.1261    |
|              | High     | 1.1355    | 1.1495    | 1.1458    | 1.1366    | 1.1334    |
|              | Low      | 1.1210    | 1.1288    | 1.1275    | 1.1258    | 1.1056    |
|              | NY 17:00 | 1.1280    | 1.1430    | 1.1281    | 1.1269    | 1.1188    |
| ユーロ/円        | 東京9:00   | 119.25    | 118.36    | 117.53    | 118.89    | 117.82    |
|              | High     | 119.43    | 118.69    | 119.49    | 119.23    | 118.31    |
|              | Low      | 118.71    | 116.18    | 116.83    | 117.56    | 116.31    |
|              | NY 17:00 | 118.96    | 117.03    | 119.18    | 117.92    | 117.05    |
| 日経平均株価       |          | 20,749.75 | 19,698.76 | 19,867.12 | 19,416.06 | 18,559.63 |
| TOPIX        |          | 1,471.46  | 1,388.97  | 1,406.68  | 1,385.12  | 1,327.88  |
| NYダウ工業株30種平均 |          | 25,864.78 | 23,851.02 | 25,018.16 | 23,553.22 | 21,200.62 |
| NASDAQ       |          | 8,575.62  | 7,950.68  | 8,344.25  | 7,952.05  | 7,201.80  |
| 日本10年債       |          | -0.14%    | -0.16%    | -0.05%    | -0.07%    | -0.06%    |
| 米国10年債       |          | 0.77%     | 0.56%     | 0.80%     | 0.87%     | 0.80%     |
| 原油価格(WTI)    |          | 41.28     | 31.13     | 34.36     | 32.98     | 31.50     |
| 金(NY)        |          | 1,672.40  | 1,675.70  | 1,660.30  | 1,642.30  | 1,590.30  |



ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- 米国では、17(火)～18日(水)にFOMCが開催される。前回1月の会合では米国経済のファンダメンタルズは依然力強く、雇用も底堅く推移し、経済は緩やかに成長していると総括された。しかしその後、新型コロナウイルスの感染拡大が本格化し、米国でも感染者が確認されるようになると、徐々に企業の活動や個人消費動向に先行き不安が生じた。さらに、景気への悪影響が強く懸念されると株式市場のボラティリティが急上昇し、一方、米金利は2月から1%以上の下落幅を記録している。かかるなか、FRBは今月4日に臨時のFOMCを開催し、▲50bpの臨時利下げに踏み切った。今回会合においても、市場では更なる利下げ観測が広がっている。ブルームバーグの予想では22人中21人が▲75bp以上の利下げを見込んでおり、うち9人が▲100bp以上の利下げを予想している。
- 欧州では、18日(水)に2月CPI(確報)の発表を控える。今月3日に発表された速報では、エネルギー価格の下落が影響し、前年比+1.2%の結果となり、1月の同+1.4%から減速して3か月ぶりの低水準となった。一方、コアCPIは非エネルギー生産財やサービス部門での物価が堅調に推移したことで、同+1.2%と1月の同+1.1%から僅かに上昇した。速報の数値から大きな変動の予想はなく、足許の物価水準はECBが掲げる物価上昇目標の2.0%を依然下回る推移が見込まれる。
- 本邦では、18(水)～19日(木)に、日銀金融政策決定会合が開催される。前回1月会合では、政策金利の据え置きをはじめ、現行の大規模な金融緩和政策の維持が決定された。また、会合後は米中貿易協議のフェーズ1合意を背景に海外経済の下方リスクは減退しているとの見方が示されていた。ところが、前回会合時から世界情勢が一変しており、新型コロナウイルス感染が世界的に急速に拡大し、各国市場に大きな動揺を与えるなか、今月3日、G7共同声明にて主要国が協調的な政策運営をする方針が示された。米国ではFRBの▲50bpの緊急利下げ、欧州はECBの量的緩和政策の拡大といったかたちで、既に本件に関しての具体的な対応策を示している。かかるなか、来週の日銀の対応にも注目が集まる。

|          | 本 邦  | 海 外  |
|----------|--|--|
| 3月13日(金) | —————  | ・米2月輸出物価指数/輸入物価指数                                    |
| 16日(月)   | ・1月機械受注統計  | ・米3月ニューヨーク連銀製造業景気指数<br>・ユーロ圏財務相会合(16～17日)            |
| 17日(火)   | ・2月工作機械受注(速報)  | ・米2月鉱工業生産・設備稼働率                                      |
| 18日(水)   | ・2月貿易統計<br>・10～12月期資金循環統計(速報)<br>・日銀金融政策決定会合(18～19日) | ・米2月CPI<br>・ユーロ圏1月貿易収支<br>・ユーロ圏2月CPI(確報)             |
| 19日(木)   | ・日銀総裁定例記者会見<br>・2月全国CPI<br>・1月全産業活動指数                | ・米3月フィラデルフィア連銀製造業業況指数<br>・米10～12月期経常収支<br>・米2月景気先行指数 |
| 20日(金)   | —————  | ・ユーロ圏1月経常収支  |

### 【当面の主要行事日程(2020年3月～)】

ECB 政策理事会 (3月12日、4月30日、6月4日)  
 米 FOMC (3月17～18日、4月27～28日、6月9～10日)  
 日銀金融政策決定会合 (3月18～19日、4月27～28日、6月15～16日)  
 G20 財務相・中央銀行総裁会合(4月16～17日、7月18～19日)

市場営業部  
 チーフマーケット・エコノミスト  
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)  
[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) [http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ\\_backnumber.html](http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html)

| 発行年月日       | 過去6か月のタイトル  |
|-------------|---|
| 2020年3月11日  | ECB政策理事会プレビュー～実質的なデビュー戦～                          |
| 2020年3月10日  | 日銀の「次の一手」を考える～GPIFとの共同戦線は？～                       |
| 2020年3月9日   | ドル安相場の当然の帰結～疫病は契機に過ぎず～                            |
| 2020年3月6日   | 週末版   |
| 2020年3月5日   | 欧州難民危機再び？～「見えない脅威」と「見える脅威」～                       |
| 2020年3月4日   | 不要不急の利下げで自滅したFRB                                  |
| 2020年3月3日   | 各国政府・中銀の政策協調姿勢を受けて                                |
| 2020年3月2日   | 最強通貨に返り咲いた円～年初来変化率がプラスに～                          |
| 2020年2月28日  | 週末版(メインシナリオに関するリスク点検～疫病リスク、米利下げ、円高～)              |
| 2020年2月27日  | 健在だった「安全資産としての円買い」と加速する悲観                         |
| 2020年2月21日  | 週末版(忌避されるユーロ～通貨安政策として先鋭化するマイナス金利政策～)              |
| 2020年2月20日  | 円急落は「日本売り」の結果なのか？                                 |
| 2020年2月19日  | 危機モードが続く為替市場と無国籍通貨「金」の上昇                          |
| 2020年2月18日  | ユーロ圏経済の現状～中国とユーロ圏が風邪を引くと・・・～                      |
| 2020年2月14日  | 週末版   |
| 2020年2月13日  | それほど信頼できない「3月円高説」の実情                              |
| 2020年2月12日  | 流動化し始めたドイツ政局～メルケル退陣まで1年半余り～                       |
| 2020年2月10日  | 良好な雇用統計が浮き彫りにした市場の「甘え」                            |
| 2020年2月7日   | 週末版(上がりそうにない原油価格～3つの理由と共にドル/円相場への含意を考える～)         |
| 2020年2月6日   | 改善が続く企業マインドをどう読むべきか                               |
| 2020年2月4日   | ボンド相場の現状と展望～遠すぎる物価「2%」～                           |
| 2020年2月3日   | プレグジットQ&A～アイルランド問題から漁業権問題へ～                       |
| 2020年1月31日  | 週末版   |
| 2020年1月30日  | FOMCを終えて～新型肺炎リスクと減速軌道の米国～                         |
| 2020年1月29日  | メインシナリオに関するリスク点検                                  |
| 2020年1月28日  | デジタル通貨を巡る4大勢力～群雄割拠を読み解く～                          |
| 2020年1月27日  | 疫病リスクと金融政策への影響などについて                              |
| 2020年1月24日  | 週末版(ECB政策理事会を終えて～やや先走り感のあるラガルド総裁～)                |
| 2020年1月22日  | 日銀金融政策決定会合～「政熱経冷」という運～                            |
| 2020年1月21日  | ECB政策理事会プレビュー～底打ち機運に乗り静観～                         |
| 2020年1月20日  | 米大統領選挙と為替～潜む一抹の不安～                                |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年12月分)                      |
| 2020年1月17日  | 週末版   |
| 2020年1月15日  | 「1998～99年」との違いはどこにあるのか～その②～                       |
| 2020年1月14日  | 中国の為替操作国認定解除を受けて～ドル売り介入の催促～                       |
| 2020年1月10日  | 週末版(「調達通貨は円よりユーロ」の答え合わせ～中東リスクを前に～)                |
| 2020年1月9日   | 予防的利下げの成否～「98年型利下げ」と「99年型利上げ」～                    |
| 2020年1月8日   | 軍事衝突と原油高への考え方～円高は不幸中の幸いか？～                        |
| 2020年1月6日   | 2020年、レンジ脱却に必要なもの～その②～                            |
| 2019年12月25日 | 2020年、レンジ脱却に必要なもの                                 |
| 2019年12月24日 | 2020年の想定外はどこにあるのか？～6つの論点～                         |
| 2019年12月23日 | スウェーデン、マイナス金利解除の読み方～2020年への示唆～                    |
| 2019年12月20日 | 週末版   |
| 2019年12月19日 | 米大統領選挙の左派リスクは2020年の波乱要因か？                         |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年11月分)                      |
| 2019年12月18日 | やはり上げを失ったボンド相場～政治も金融もボンドの足枷～                      |
| 2019年12月17日 | 日銀金融政策決定会合プレビュー                                   |
| 2019年12月16日 | 英総選挙を終えて～「次の山」は2020年6月末に～                         |
| 2019年12月13日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～フクロウ型総裁の「人となり」～)                 |
| 2019年12月12日 | FOMCを終えて～「タカ派的利下げ」から「ハト派的現状維持」～                   |
| 2019年12月11日 | 円の基礎的需給環境～基礎収支に映る変化～                              |
| 2019年12月10日 | 道標を失った為替市場～マイナス金利解除がキーに？～                         |
| 2019年12月9日  | 英国総選挙の論点整理～事実上、「2度目の国民投票」～                        |
| 2019年12月6日  | 週末版(2019年の為替市場を概観する～円は結局強かった～)                    |
| 2019年12月5日  | ECB政策理事会プレビュー～デビュー戦、3つの見どころ～                      |
| 2019年12月3日  | ドイツ政局の流動化について～メルケル退任まであと2年～                       |
| 2019年12月2日  | 金融政策に環境配慮は必要か？～制御すべきは気候ではなく物価～                    |
| 2019年11月29日 | 週末版   |
| 2019年11月26日 | 円安リスクの点検～「ツケ」が怖い2020年～                            |
| 2019年11月25日 | 名目実効為替相場(NEER)で読む2019年のドル相場                       |
| 2019年11月22日 | 週末版(ドラギ元総裁、最後のECB政策理事会議事要旨～「結束(unity)」と財政政策～)     |
| 2019年11月20日 | 「ドル化した世界」で進む「金融政策の一本化」                            |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年10月分)                      |
| 2019年11月19日 | ドイツは底打ちしたのか？～リセッション回避も残る不安～                       |
| 2019年11月18日 | 「株価の腐」と「予防的緩和」について考える                             |
| 2019年11月15日 | 週末版(ラガルド体制の「overhaul(刷新)」ミッションの行方～総裁会見と投票方式について～) |
| 2019年11月14日 | 欧州の「弱さ」源泉～輸出拠点が裏目にたドイツ～                           |
| 2019年11月13日 | 円高予想の誤算と「ドル化した世界」という悩み                            |
| 2019年11月12日 | 動かない相場の背景にある「円の不人気」                               |
| 2019年11月11日 | 「公的デジタル通貨 vs. リブラ」の様相に                            |
| 2019年11月8日  | 週末版   |
| 2019年11月1日  | 週末版   |
| 2019年10月30日 | ラガルド新ECB総裁を巡る3つの論点                                |
| 2019年10月29日 | 円安リスクの点検～欧州・中国の復調はあるか？～                           |
| 2019年10月28日 | ドラギ総裁最後のECB理事会～危機の「生き字引」～                         |
| 2019年10月25日 | 週末版   |
| 2019年10月24日 | またも史上最小値幅～体感「5円」以下という異例～                          |
| 2019年10月23日 | 「リブラ」阻止で一致するG20～ザッカーバーグ証言を前に～                     |
| 2019年10月21日 | 思い出したい「10月31日」の経緯～次に起こることは～                       |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年9月分)                       |
| 2019年10月18日 | 週末版(2度目の離脱協定案合意～3つの論点を整理～)                        |
| 2019年10月16日 | FRBのTB購入を受けて～欲しかった「ずる賢さ」～                         |
| 2019年10月11日 | 週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて～議論紛糾の読み方、議事要旨としては秀逸～)        |
| 2019年10月10日 | 円相場の需給環境について～縮小均衡～                                |
| 2019年10月9日  | FRBの資産購入再開と懐かしのソロスチャート                            |
| 2019年10月8日  | 揺らぐリブラ計画～初のメンバー脱退表明を受けて～                          |
| 2019年10月7日  | 米9月雇用統計を受けて～「思ったより悪くない」の危うさ～                      |
| 2019年10月4日  | 週末版(製造業から非製造業への波及は始まったのか～ISM景気指数の悪化を受けて～)         |
| 2019年10月3日  | ユーロ圏の物価情勢の現状と展望～日本化の過渡期？～                         |
| 2019年10月2日  | ISM製造業景気指数の「底」は見えそうか？                             |
| 2019年9月27日  | 週末版(三度起こった「ドイツの乱」～ラウテンシュレーガーECB理事辞任の読み方～)         |